

＜理研スミチオン乳剤の特長＞

- 各種害虫に対し幅広い殺虫スペクトラムと接触・食毒効果を有します。
- 植物に対して浸達性を有し、安定した殺虫効果を発揮します。
- 環境や温血動物に対する影響が少ない薬剤です。



理研 **スミチオン**[®] 乳剤
®：住友化学株式会社登録商標

適用害虫と使用方法（抜粋）

作物名	適用害虫名	希釈倍数（倍）	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法
芝	コガネムシ類幼虫	1,000	3L/m ²	発生初期	6回以内	散布
	シバツトガ		0.3~2L/m ²			
	スジキリヨトウ		3L/m ²	幼虫発生期		
	シバオサゾウムシ					
宿根かすみそう	ナスハモグリバエ					
ばら・きく	アブラムシ類	1,000~2,000	100~300L/10a	-		
	フラーバラゾウムシ	1,000	200~700L/10a			
つつじ類	グンバイムシ類		100~300L/10a			
カーネーション	アザミウマ類					
樹木類	フラーバラゾウムシ	1,000	200~700L/10a	-		
	アメリカシロヒトリ	500~1,000				
	オオハリセンチュウ	500	-	移植前	1回	30分間 根部浸漬
オリーブ	オリーブアナアキ ゾウムシ	50	0.3~3L/樹	収穫21日前まで	3回以内	樹幹散布
オリーブ(葉)		50		収穫120日前まで		
いちよう(種子)		100		収穫60日前まで		

効果・薬害等の注意（上記登録内容に関する抜粋）

- ボルドー液と混用する場合は散布直前に行い、できるだけ早く使用してください。ただし、その他アルカリ性の強い農薬との混用はさけてください。
- 本剤は自動車、壁などの塗装面、大理石、御影石に散布液がかかると変色するおそれがあるので、散布液がかからないよう注意してください。
- あぶらな科作物には薬害を生ずるおそれがあるので、付近にある場合にはかからないように注意してから散布してください。
- ひのきに対しては個体によって落葉、枯損にいたるおそれがあるので、付近にある場合にはかからないように注意して散布してください。
- 芝のコガネムシ類幼虫に使用する場合は、散布液が土壤中に十分しみ込むようジョロ等で1m²当り3Lを散布してください。
- 宿根かすみそうに使用する場合は、開花期には薬害を生じることがあるので、この時期の使用はさけてください。
- フラーバラゾウムシに使用する場合は、植物防疫所、病害虫防除所等関係機関の指導のもとに実施してください。
- 適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤をはじめ使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。なお、普及指導センター、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましいです。

- 本剤は眼に対して刺激性があるので眼に入らないよう注意してください。眼に入った場合は直ちに水洗し、眼科医の手当を受けてください。
- 本剤は皮膚に対して刺激性があるので皮膚に付着しないよう注意してください。付着した場合は直ちに石けんでよく洗い落してください。
- 散布の際は農薬用マスク、不浸透性手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用してください。作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、洗眼・うがいするとともに衣服を交換してください。
- 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯してください。
- かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意してください。
- 街路、公園等で使用する場合は、散布中および散布後（少なくとも散布当日）に関係のない者が散布区域に立ち入らないよう縄囲いや立て札を立てるなど配慮し、人畜等に被害を及ぼさないよう注意を払ってください。
- 水産動植物（魚類、甲殻類）に影響を及ぼすおそれがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。
- 使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきってください。散布器具および容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また、空容器は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。

保管上の注意

- 小児の手の届く所には置かないでください。直射日光をさけ、なるべく低温で乾燥した場所に密封して保管してください。また、食品と区別してください。

安全・使用上の注意

- ミツバチに対して影響があるので、以下のことに注意すること。
 - ①ミツバチの巣箱及びその周辺に飛散するおそれがある場合には使用しないこと。
 - ②受粉促進を目的としてミツバチ等を放飼中に果樹園等では使用をさけること。
 - ③養蜂が行われている地区では都道府県の畜産部局と連絡し、ミツバチの危害防止に努めること。
- 蚕に対して影響があるので、周辺の桑にはかからないようにすること。
- 誤飲などのないよう注意してください。
- 本剤の解毒剤としては硫酸アトロピン製剤及びPAM製剤が有効であると報告されています。



〒110-8520 東京都台東区東上野4丁目8-1 TIXTOWER UENO 8階
 TEL 03-6802-8301 FAX 03-6802-8577 <http://www.rikengreen.co.jp>

札幌駐在 TEL011(595)7401 FAX011(595)7402
 仙台支店 TEL022(222)9599 FAX022(267)6505
 東京支店 TEL03(6802)8943 FAX03(6802)8953
 静岡支店 TEL054(283)5555 FAX054(284)1769
 名古屋支店 TEL052(218)3060 FAX052(218)3061
 大阪支店 TEL06(6871)1691 FAX06(6871)1811
 福岡営業所 TEL・FAX：大阪支店にて代行受付
 グリーン研究所 TEL0538(58)1282 FAX0538(58)1714